

令和3年11月8日
高校教育課

「横浜市立高等学校海外大学進学支援プログラム業務委託 (令和3年度1年生)」契約結果

横浜市立高等学校海外大学進学支援プログラム業務委託(令和3年度1年生)について、公募型プロポーザル方式で、受託候補者を特定し、次のとおり契約しました。

- 1 件名 横浜市立高等学校海外大学進学支援プログラム業務委託(令和3年度1年生)
- 2 委託内容 海外大学進学支援プログラムの実施
- 3 契約の相手方 株式会社ベネッセコーポレーション
- 4 契約金額 2,862,376円
- 5 契約日 令和3年9月1日
- 6 評価結果

提案者	評価点数	順位
株式会社ベネッセコーポレーション	1,294	1位

7 評価基準・評価委員会開催経過等

評価基準	別紙のとおり
委員会開催日時及び開催場所	令和3年7月26日(月) 14時00分から15時30分まで 市庁舎会議室
評価委員の出席状況	出席5/委員数6(人)
主な質疑の観点	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症による海外大学進学への影響とその対応・動画配信による講習の課題と実施上の工夫・受講生の選定基準・海外大学進学への不安払拭・モチベーション維持に関するサポート体制・エッセイのライティング指導方法

- 8 問い合わせ先
教育委員会事務局高校教育課
TEL 045-671-3272

横浜市立高等学校海外大学進学支援プログラム業務委託(令和3年度1年生) 提案書評価項目

1 組織体制	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) 企業コンセプト、業務内容、資本金、従業員数	5 4 3 2 1	×1	
(2) ワークライフバランス推進と障害者雇用促進について、国の施策に則って取り組んでいるか	5 4 3 2 1	×1	
(3) 海外大学進学に関する指導、情報提供、相談対応等の実績	5 4 3 2 1	×2	
(4) 高等学校卒業後2年以内の海外大学合格者及び世界大学ランキングで300位以内の大学合格者の単年度実績	5 4 3 2 1	×3	
(5) 効果的なプログラム運営に向け、拠点校及び受講生の在籍校との連携体制が構築できるか	5 4 3 2 1	×3	
(6) 業務遂行に必要な能力を有する人材を適正数配置するなど、十分な実施体制となっているか	5 4 3 2 1	×3	
(7) 説明会、講習会、研修会等の実施状況や、受講生の学力習得状況や講習の受講状況について、教育委員会事務局高校教育課又は拠点校に対し、報告が適正な時期、内容で行われるか	5 4 3 2 1	×2	
(8) 個人情報保護の対策が適正に行われているか	5 4 3 2 1	×3	

備考 小計
(満点90点)

2 説明会、模擬体験授業、講演会、研修等の実施	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) 説明会、講演会、研修会、講習等を効果的に行うための講師派遣が期待できるか(数、講師レベル等)	5 4 3 2 1	×3	
(2) 海外大学進学に関する適切でわかりやすい情報提供ができるか	5 4 3 2 1	×2	
(3) 生徒の意欲を喚起し、海外大学進学等のグローバルな進路を魅力的に発信できる内容になっているか	5 4 3 2 1	×3	
(4) 実施方法、実施日時の設定について、学校、生徒、保護者の利便性を踏まえたものとなっているか	5 4 3 2 1	×3	
(5) 教職員に必要な時期に必要な研修を実施する内容となっているか	5 4 3 2 1	×3	

備考 小計
(満点70点)

3 プログラム受講生の選定、英語力測定の実施	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) プログラム受講生の選定において、英語力、志望理由、課外活動実績、学業成績等を総合的に評価し、選定する内容となっているか	5 4 3 2 1	×2	
(2) プログラム開始後、英語力測定を適正な時期に実施し、その後の学習計画に活かす内容となっているか	5 4 3 2 1	×2	
(3) 選定結果、英語力測定結果について、受講生への通知、教育委員会事務局高校教育課への報告が適正な時期・方法で行われるか	5 4 3 2 1	×2	

備考 小計
(満点30点)

4 拠点校における講習の実施	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) 講習の内容が海外大学進学に必要なTOEFL等のスコアアップ、英語によるエッセイ、ディスカッション、プレゼンテーション力向上を期待できる内容となっているか	5 4 3 2 1	×3	
(2) 講習の内容が、受講生の学年及び個々の英語力に対応できるものとなっているか	5 4 3 2 1	×2	
(3) 講習の内容に、日本や横浜の文化や歴史、国際的な位置づけ等について、グローバルな視点から発信できる力を養成することを視野に入れた取組が効果的に行われる内容となっているか	5 4 3 2 1	×3	
(4) 講習の内容が、受講者の意欲の維持向上に資するものとなっているか	5 4 3 2 1	×2	
(5) 実施方法、実施日時の設定が受講生への対応も含め、適切かつ学校生活を踏まえた現実的なものとなっているか	5 4 3 2 1	×3	
(6) 習熟度の把握、クラス分けなど、進捗管理や評価を行う指標や方法は適切か	5 4 3 2 1	×2	
(7) 海外大学進学という目標達成に向けて計画的な指導スケジュールが具体的に示されているか	5 4 3 2 1	×2	
(8) 効果的な講習の実施に向けて、拠点校への報告、相談、連絡が充分に行える体制か	5 4 3 2 1	×3	
(9) WEB配信により学習する場合でも双方向でやりとりできる内容となっているか	5 4 3 2 1	×3	
(10) 自宅学習支援は、適切な課題提出や添削を行う内容となっているか 課題提出を課す場合も、学校生活を踏まえた現実的なものとなっているか	5 4 3 2 1	×2	

備考 小計
(満点125点)

5 相談対応、出願サポート等の実施	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) 生徒、保護者、教職員の個別相談に対し、タイムリーに対応できるか	5 4 3 2 1	×2	
(2) 海外大学への出願について、個々のニーズ及び状況に合わせたプランニング、カウンセリング、支援ができるか	5 4 3 2 1	×3	

備考 小計
(満点25点)

6 経費	評価ポイント	ウエイト	点数
(1) 効率的で妥当と認められる経費が見積もられているか	5 4 3 2 1	×1	
(2) 受講者あたり、実施回数あたりの単価は適切か	5 4 3 2 1	×1	

備考 小計
(満点10点)

評点の合計(満点:350点) 合計